

1 自然や景観、生活環境を守る

1 自然や景観、生活環境を守る

拡 環境保全の推進 99万円

(企画環境課環境エネルギー係) 前年予算額62万円

ニセコ町の良好な自然環境を次世代へと引き継ぎ、自然と共生し持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めます。

平成24年度からは夏に水生昆虫観察会や秋ころに環境関係講演会を行い、第2次環境基本計画に則った取り組みを進めます。

主な経費

観察会開催経費	8万円
講演会開催経費	6万円
後志地域生物多様性会議参加旅費	2万円
環境自治体会議負担金・会議旅費	22万円
環境情報収集経費(旅費・参考図書)	16万円
その他事務経費(時間外勤務手当など)	45万円

環境基本計画などの進行管理 8万円

(企画環境課環境エネルギー係) 前年予算額211万円

環境基本計画、地球温暖化対策実行計画などの進捗状況の管理と評価を行い、環境審議会委員や町内有志の協力を得ながら、環境保全に関する取り組みを進めます。

主な経費

環境審議会開催経費など	8万円
-------------	-----

拡 準都市計画事務経費

342万円

(建設課都市計画係)

前年予算額15万円

近年ニセコアンヌプリ山麓を中心に土地取引が活発に行われ、大規模な開発が予想されたことから、町では良好な自然景観を確保することを目的に、平成21年3月に準都市計画を指定しました。また、同年7月には特定用途制限地域や景観地区を指定しました。今後も景観を守り続けていくため、開発事業の審査などを担当する嘱託職員を配置し、ルール of 適正化やニセコ町都市計画審議会の開催を通して、美しい町の景観保全を図ります。

主な経費

嘱託職員賃金	330万円
旅費	6万円
ニセコ町都市計画審議会報酬	4万円
その他事務経費	2万円



1 自然や景観、生活環境を守る

土地利用対策事業

14万円

(建設課都市計画係)

前年予算額8万円

国土利用計画法に基づき、10,000㎡以上の土地取引の届出受付などの事務を行います。

また、町内の廃屋について、所有者を特定したうえで撤去を要請するための事務を行います。

主な経費

旅費	4万円
消耗品費	4万円
複写機使用料	4万円
その他事務経費	2万円

財 源

北海道の負担額	8万円
ニセコ町の負担額	6万円

新 市街地区グランドデザインの検討 250万円

(担当：建設課都市計画係)

前年予算額0万円

ニセコ町市街地区を中心に、道の駅ニセコビュープラザ・綺羅街道・中央地区・ニセコ山系への全体的なまちづくりの将来像（グランドデザイン）をまとめます。市街地区をはじめ周辺地域の現状分析を行ったうえで、まちづくりの全体ビジョンや開発のコンセプトなどについて検討し、まとめていきます。（事業期間 5月から2月）

主な経費

市街地区グランドデザイン検討 業務委託料	250万円
-------------------------	-------

町有林の管理

356万円

(農政課畜産林務係)

前年予算額243万円

豊かな自然環境の保全と将来の森林づくりのため、町有林の保育・育林事業を計画的に行います。

主な経費

間伐事業	299万円
作業道管理事業	52万円
管理業務にかかる諸費用	5万円

財 源

北海道の負担額	204万円
ニセコ町の負担額	152万円

未来につなぐ森づくり推進事業（平成23～32年度） 340万円

(農政課畜産林務係)

前年予算額346万円

町の自然条件や森林の機能を考えた伐採とその後の確実な造林を行う森林組合などに、費用の一部を補助します。

主な経費

補助金	340万円
-----	-------

財 源

北海道の負担額	209万円
ニセコ町の負担額	131万円

1 自然や景観、生活環境を守る

除間伐事業の推進 50万円

(農政課畜産林務係) 前年予算額50万円

民有林の除間伐作業を進め、適正な森林の育成を図るため、除間伐費用の一部を補助します。

主な経費
補助金 50万円

森林整備地域活動支援対策事業 330万円

(農政課畜産林務係) 前年予算額330万円

単独または共同で30ha以上の森林を保有し、森林施業計画を立てた森林所有者などが、町と造林事業の推進に関する協定を結び、協定に基づく作業（間伐、下刈り、植林など）を行った場合に交付金を支払います。

主な経費
交付金 330万円

財 源

国の負担額	165万円
北海道の負担額	82万円
二セコ町の負担額	83万円

森林整備担い手対策推進事業 10万円

(農政課畜産林務係) 前年予算額8万円

森林作業員や事業主、市町村、道が一定の掛け金を負担し、作業員に就労日数に応じた奨励金を支給します。奨励金により就労の長期安定化を促進し、林業労働力の確保を図ります。

主な経費
奨励金 10万円

町有林野ネズミ駆除事業 2万円

(農政課畜産林務係) 前年予算額2万円

町有林を野ネズミの被害から守るため、約7haの林野にヘリコプターで10月に薬剤散布を行います。

主な経費
薬剤の購入費用 1万円
ヘリコプター散布の委託 1万円

財 源

北海道の負担額	1万円
二セコ町の負担額	1万円

1 自然や景観、生活環境を守る

森林愛護組合支援事業 10万円

(農政課畜産林務係) 前年予算額10万円

町内の各地域で組織している「森林愛護組合」の活動に対して支援し、地域の山林保全を推進します。

主な経費
補助金 10万円

河川の維持管理 162万円

(建設課土木係) 前年予算額8万円

ニセコアンベツ1号川で、崩れている箇所護岸工事を6月から8月にかけて行います。また、川底に土砂が堆積して浅くなっている箇所の土砂の除去を行います。

有島木道の木が腐っているところの修繕を6月に行います。

主な経費
作業手数料 8万円
作業機械借上 29万円
ニセコアンベツ1号川補修工事 120万円
補修原材料 5万円

新 水道水源・地下水の保全

19万円

(企画環境課環境エネルギー係)

前年予算額0万円

水道水源保護条例、地下水保全条例の適切な運用を行い、開発などによる水源の汚濁・枯渇を防ぎ、ニセコ町の良好な水環境を守る取り組みを進めます。

主な経費
水資源保全審議会開催経費 16万円
打合せ等旅費 3万円

～ニセコ町水道水源保護条例～

水道水源保護地域内への施設などの設置には許可が必要で、水質汚染や水源枯渇のおそれがある場合は設置できません。

～ニセコ町地下水保全条例～

井戸の設置には届出が必要で、採取能力が高い場合は許可が必要です。周辺への悪影響が予想される場合は井戸の設置はできません。

1 自然環境と景観を守る

拡 水道施設維持管理事業

3,474万円

(上下水道課維持係)

前年予算額3,954万円

町民のみなさんに清潔で安全な水を供給するため、水質検査や水道施設の維持管理に要する経費です。水質検査は蛇口からの通常検査（毎月1回）のほか、水源池の原水精密検査（年1回）と浄水精密検査（年4回）を行い、水道水の安全性を確認します。

水道施設は、災害に強くて永く使用できる施設を目指し、少ない費用で効果的な改修や補修となるよう努めています。特に今年度は、大雨や停電に耐えられる能力を向上するための補修を行います。

このほか、今後の計画的な施設の補修や、漏水事故などに素早く対応できるようにするため、水道管を含めた全ての水道施設の状況を現地調査する予定です。

主な経費

水道施設維持管理経費（電気料・薬品代など）	1,171万円
水道水質検査業務	850万円
水道管路調査業務（H24.5～H25.3）	900万円
水道施設維持補修工事（H24.6～H24.10）	553万円

新 水道施設拡張事業 5,902万円

(上下水道課管理係)

前年予算額0万円

水道事業は、北海道から経営認可を受けて各家庭に給水しています。町では有島・元町地区の水道未普及地区へ給水できるように、管布設の工事を行います。

■工事期間：9月上旬～11月下旬

主な経費

水道施設管路実施設計委託業務	920万円
水道施設管布設工事	4,980万円
その他事務費	2万円

水道メーター取替事業 686万円

(上下水道課維持係)

前年予算額968万円

水道の使用量を確認するため、使用者の住宅などには量水器（水道メーター）を取り付けています。この機器は、法律で8年を過ぎたものは取り替えるよう定められていることから、計画的に交換を行っています。

■工事箇所：二セコ町全域

■工事期間：5月上旬～10月下旬

主な経費

取替用水道メーター（285台）	442万円
水道メーター取替工事費	244万円

1 自然環境と景観を守る

水道施設建設等償還金（借金の返済）8,486万円

（上下水道課管理係） 前年予算額8,836万円

水道管の布設や配水池などの水道施設を建設するために借りたお金を返済します。返済金の一部は、国から補てんされます。

主な経費

借金の返済金 8,486万円

財 源

国からの交付額（見込み） 2,247万円
ニセコ町の負担額（見込み） 6,239万円

【拡】簡易水道事業運営経費 3,132万円

（上下水道課維持係） 前年予算額2,756万円

簡易水道事業を運営するために必要な経費です。担当職員の人件費や水道料金に関する経費、その他水道事業に必要な事務経費などが含まれます。

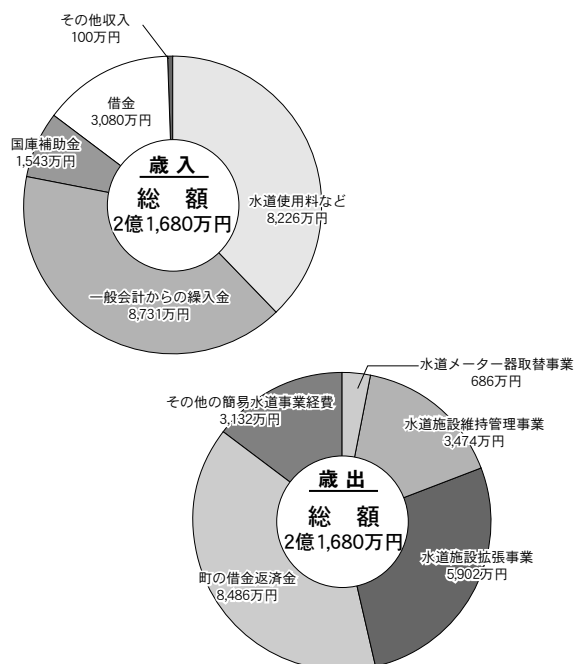
平成25年度から水道料金をコンビニエンスストアでも支払えるようにするため、今年度は水道料金システムの改修経費184万円も計上しています。

主な経費

人件費など 2,238万円
水道事業事務経費 894万円

簡易水道事業（特別会計）

ニセコ町の水道事業は、法律の区分から「簡易水道事業」と呼ばれ、町の一般会計とは別の会計を作り管理しています。



下水道運営経費 2,098万円

（上下水道課管理係） 前年予算額1,820万円

下水道事業を運営していくために必要な経費です。担当職員の人件費や消耗品、負担金などの費用が含まれます。

主な経費

人件費など 1,880万円
その他の事務費 218万円

1 自然環境と景観を守る

下水道管理センター・ポンプ所の維持管理経費

3,271万円

(上下水道課管理係)

前年予算額3,554万円

各家庭から出される汚水は、下水道管やポンプ所を通り、下水道管理センターに集められます。汚水の量は1日に約630㎥。25mプール2.1杯分にもなるこの汚水は、センター内の水槽で微生物の力を借りながらきれいな水と汚泥に分けます。水は川に戻し、汚泥は堆肥センターで堆肥の原料になります。

このように、町ではごみの発生しない循環型社会の確立へ向けた取り組みを行っています。

主な経費

下水道管理センター・ポンプ所	
維持管理料	2,446万円
(運営委託・電気機械整備・汚泥処理費など)	
下水処理センターの光熱水費など	434万円
その他の運営経費	391万円

下水道施設維持管理経費 134万円

(上下水道課管理係)

前年予算額137万円

下水道管が詰まるなどの事故が起きないように、管内の清掃やマンホール周辺の傷んだ舗装の補修を行います。

また、下水道管などの施設を適正に維持管理するために管理台帳を整備し、事故や問い合わせにすばやく対応します。

主な経費

下水道管渠・管路維持補修業務	93万円
公共下水道施設台帳修正業務	19万円
その他の下水道維持管理経費	22万円

公共下水道整備事業

119万円

(上下水道課管理係)

前年予算額219万円

下水道事業は全体計画に基づいて進められていますが、人口の増減・住宅建設状況に併せて下水道の使用できる区域や計画汚水量の見直し、下水道事業の整備計画などを見直します。

主な経費

事務費や旅費・使用料など	21万円
下水道事業全体計画変更業務委託料	98万円

1 自然環境と景観を守る

下水道施設建設等償還金（借金の返済）1億1,628万円

（上下水道課管理係） 前年予算額1億2,339万円

下水道管や下水道管理センターを建設するために借りたお金を返済します。返済金には、国から交付金が交付されます。

主な経費

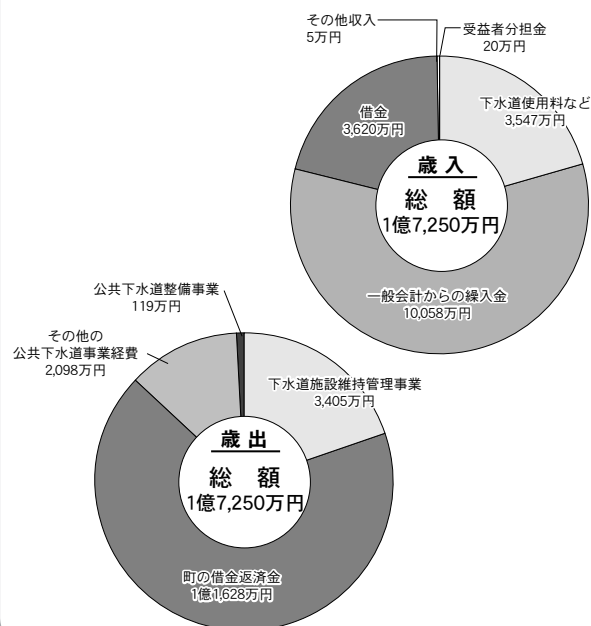
借金の返済金 1億1,628万円

財 源

国からの交付額（見込み） 2,232万円
ニセコ町の負担額（見込み） 9,396万円

下水道事業（特別会計）

下水道事業は平成7年度から着工し、平成12年から市街地区で使用されています。また、簡易水道事業と同様に町の一般会計とは別の会計を作り管理しています。



農業集落排水施設の維持管理経費 125万円

（上下水道課管理係） 前年予算額196万円

農業集落排水施設の利用は、平成16年度から始まりました。各家庭から出された汚水は、蘭越町が管理する終末処理場で処理しています。この排水量に応じた処理費用を蘭越町に支払います。

今後も町が管理している污水管やポンプ所は、引き続き適正に維持管理します。

主な経費

昆布地区農業集落排水事業負担金 109万円
マンホールポンプ所電気料・電話料 16万円

農業集落排水運営経費 9万円

（上下水道課管理係） 前年予算額8万円

農業集落排水事業を運営していくために、必要となる消耗品や事務費などの費用です。

主な経費

消耗品や事務費など 9万円

1 自然環境と景観を守る

農業集落排水事業施設建設などの償還金（借金の返済）856万円

（上下水道課管理係） 前年予算額966万円

污水管や処理場を建設するために借りたお金を返済します。返済金には、国から交付金が交付されます。

主な経費

借金の返済金 856万円

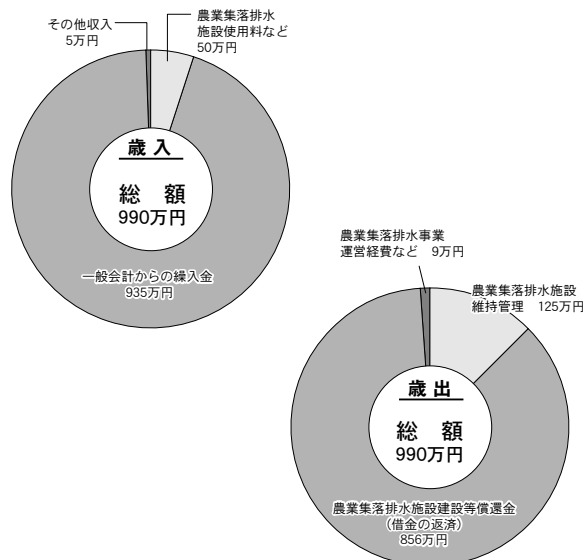
財 源

国からの交付額（見込み） 354万円
二セコ町の負担額（見込み） 502万円

農業集落排水事業（特別会計）

西富地区の下水道は、蘭越町との広域事業で進められ、平成16年度から使用されています。

また、下水道事業と同様に町の一般会計とは別の会計を作り管理しています。



浄化槽整備事業 698万円

（上下水道課管理係） 前年予算額798万円

浄化槽は、トイレや台所、風呂などの排水を敷地内で処理する設備です。

町では水質汚濁を防止し、生活環境を守り、公衆衛生を向上させるため浄化槽の設置費用の一部を補助します。

主な経費

北海道合併処理浄化槽普及促進協議会負担金 2万円
浄化槽設置整備事業補助 696万円

財 源

国の負担額 188万円
二セコ町の負担額 510万円

浄化槽設置費用の一部補助

町では浄化槽の設置費用の一部を補助しています。

補助対象は、公共下水道と農業集落排水処理施設の処理区域外の住宅です。なお、補助金は浄化槽本体と本体の設置に関する標準工事費の45%または55%ですが、限度額は次のとおりです。

浄化槽設置整備事業補助金限度額

区 分	限 度 額	
	住宅の新築に伴う新設	くみ取り式や単独浄化槽からの切り替え
5人槽	40万円	49万円
7人槽	49万円	60万円
10人槽	68万円	84万円

○詳しくは上下水道課管理係（☎0136-44-2121）までお問い合わせください。

1 自然環境と景観を守る

し尿処理（くみ取り）事業

3,624万円

（町民生活課生活環境係）

前年予算額3,517万円

一般家庭のし尿の収集は、毎年3月に申し込みを受け付け、自治会ごとの収集計画に基づいて実施しています。なお、収集は原則的に年3回以内とします。

また、追加収集は特殊な事情を除いて、1～3月の調整月に別途お申し込みください。

■町民生活課生活環境係 ☎0136-44-2121

■収集事業者（有）塚越産業 ☎0136-44-2630

し尿や浄化槽汚泥の処理は、羊蹄山麓環境衛生組合（構成町村＝倶知安町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町）が一括して行っています。この運営経費は、主に各町村からの負担金により賄われています。

主な経費

羊蹄山麓環境衛生組合負担金
3,624万円

ごみ収集事業

7,101万円

（町民生活課生活環境係）

前年予算額7,049万円

燃やすごみ、燃やさないごみ、生ごみ、資源ごみなどの一般廃棄物を円滑に収集します。最近、ごみの分別についてルールを守らないごみが見受けられます。ごみの減量化や効率的な収集運搬を行うためにも、ごみの分別を徹底し排出ルールを守りましょう。

また、ダストボックスの日常管理は各町内会にお願いしています。除雪や清掃など、適切な維持管理にご協力をお願いします。

※ごみの出し方や分別方法は、191、192ページのくらしの情報編をご覧ください。

主な経費

ごみ収集業務委託料	6,228万円
町指定袋購入費	670万円
ごみ処理券取扱業務委託料	95万円
ダストボックス維持補修経費	108万円

財 源

ごみ処理手数料 （町指定ごみ袋の販売収入など）	1,541万円
一般廃棄物処理許可申請手数料	2万円
ニセコ町の負担額	5,558万円



ごみ収集作業の様子

1 自然環境と景観を守る

廃棄物広域処理事業

2,157万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額2,232万円

ごみの広域処理は、羊蹄山麓7町村の連絡協議会を中心に、各種の取り組みを継続して進めます。

燃やすごみは、羊蹄山麓7町村が共同して倶知安町清掃センターで焼却します。そこで出た焼却灰は、各町村の最終処分場で埋め立て処分します。

燃やさないごみと粗大ごみは、倶知安町を除く6町村が共同して蘭越町粗大ごみ処理施設で破碎処理します。破碎したごみは選別され、燃やすごみは倶知安町清掃センターで焼却、金属類は再資源化します。選別して残ったごみは、燃やさないごみとして各町村の最終処分場で埋め立て処分します。

なお、現在焼却ごみを処理している倶知安町の清掃センターが平成26年度末に使えなくなることから、羊蹄山麓7町村で新たな処理施設の検討を進め、固形燃料化方式(RDF)を導入し、倶知安町に設置することとしています。町では、これらの仕事に必要な経費を負担します。

主な経費

倶知安町清掃センターごみ焼却業務負担金	1,740万円
蘭越町粗大ごみ処理施設維持管理業務負担金	239万円
破碎不燃物運搬業務委託料	79万円
羊蹄山麓地域廃棄物広域処理基本計画策定業務負担金	49万円
焼却灰運搬業務委託料	48万円
羊蹄山麓地域廃棄物広域処理連絡協議会負担金	2万円

資源物リサイクル推進事業

2,165万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額2,173万円

町では家庭から出される資源ごみを無料で回収しています。しかし、資源ごみを再商品化するまでには、収集運搬や異物除去、一時保管などの多額の費用が必要です。ごみをきちんと分別して出すことは町の財政的にも、環境を守るためにも大切なことです。さらに、

- ごみになるものを家庭に持ち込まない
- 使い捨てのものは、できるだけ購入・使用しない
- 修理・修繕を行い、できるだけ長く使用する

ということが重要です。ごみの減量化を推進するために、まず自分ができることから取り組んでみましょう。なお、きちんと分別された資源ごみの一部は、リサイクル原料として町の収入となります。なお一層のご協力をお願いします。

※ごみの処理経費については、172ページの資料編をご覧ください。

※ごみの分別排出区分については、191、192ページのくらしの情報編をご覧ください。

主な経費

資源ごみ分別保管業務委託料	1,539万円
生ごみ・下水道汚泥処理負担金	302万円
空き缶の分別処理業務委託料	155万円
容器包装物の再商品化業務委託料	112万円
乾電池・蛍光灯処理業務委託料	37万円
リサイクル推進の事務及び管理経費	20万円

財 源

資源ごみ売払い収入	193万円
下水道汚泥処理負担金	110万円
二セコ町の負担額	1,862万円

1 自然環境と景観を守る

一般廃棄物最終処分場の維持管理

839万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額714万円

一般廃棄物最終処分場では、燃やすごみの焼却灰と蘭越町粗大ごみ処理施設で破碎処理した粗大ごみ、燃やさないごみを埋め立て処分しています。この埋め立てられたごみを適正に管理するため、施設の維持管理を行います。

この最終処分場は、平成21年度で埋め立てが終了する予定でしたが、みなさんのゴミの分別と減量化のご協力により、あと5年ほど埋め立てを行うことができます。施設をできるだけ長く利用するためにはごみを減らすことが必要です。引き続き、みなさんのごみの分別と減量化のご協力をよろしくお願いいたします。

主な経費

水処理施設維持管理業務委託料	463万円
埋立施設棟及び水処理施設棟維持管理費	204万円
作業機械借上料	89万円
埋立施設搬入管理・埋立作業業務委託料	83万円



一般廃棄物最終処分場

廃棄物処理対策の検討と啓発

10万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額21万円

廃棄物の減量化と適正な処理を進めるため、町、町民のみなさん、事業者のそれぞれが役割を担い、協力するよう条例で定めています。国では、一部の家電や自動車のリサイクルなど、さまざまな廃棄物について再資源化することを推進しています。町でもごみ処理の方法を変更したときは、広報紙や啓発チラシなどでお知らせします。

また、廃棄物対策検討委員会や廃棄物処理施設見学会の開催、衛生組合連合会と協力しながら、ごみの減量化やリサイクルを推進していきます。

主な経費

廃棄物対策検討委員会経費	6万円
啓発事業事務経費	4万円

1 自然や景観、生活環境を守る

不法投棄廃棄物対策

10万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額10万円

廃棄物を不法に投棄した人には、法律により5年以下の懲役、1,000万円以下の罰金、またはその両方が科せられ、法人は最大3億円の罰金が科せられます。

また、社会通念上やむを得ないと認められた場合（神社で行うどんど焼きなど）を除き、廃棄物を野外で焼却した人も、不法投棄と同様の罰則が科せられますので、このような行為は絶対にやめてください。

町では、今年もごみの排出や分別の指導とあわせて、廃棄物の不法投棄や野外での焼却などの巡視を行い、地域環境の保全を図ります。

主な経費

不法投棄廃棄物処理手数料 10万円

環境美化巡視とクリーン作戦

38万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額26万円

職員が2人1組となり町内を巡回します。巡回する職員は、各地の状況を把握し散乱したごみや不法投棄などに対応します。

また、春と秋には町民のみなさんとともに、主要道路沿いのごみを拾う「クリーン作戦」を行います。

■春のクリーン作戦（5月に予定）

■秋のクリーン作戦（10月に予定）

※5月、10月を「町内ぐるみの美化清掃月間」に定める予定です。自治会内の美化清掃活動に積極的なご協力をお願いします。

主な経費

公用車維持管理経費 34万円

環境美化・クリーン作戦経費 4万円

1 自然や景観、生活環境を守る

衛生組合連合会事業

1万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額1万円

各自治会の衛生組合長で組織している衛生組合連合会では、町と連携して環境・衛生意識の普及、清掃美化対策事業を行っています。各町内会でのごみの分別や排出、日常的なダストボックスの維持管理、地区内清掃活動などは、衛生組合長を中心に町民のみなさんが協力して取り組みましょう。

主な経費

啓発事業事務経費

1万円

食品衛生事業

6万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額10万円

倶知安地方食品衛生組合に加入し、食中毒の防止や食品衛生の普及に努めます。

主な経費

倶知安地方食品衛生協会負担金 6万円

動物の愛護と畜犬対策

19万円

(町民生活課生活環境係)

前年予算額20万円

犬の飼い主は「狂犬病予防法」により飼い犬の登録と狂犬病予防注射が義務づけられています。

飼い犬の登録は市町村で行っています。また、年1回の狂犬病予防注射（集団注射）を6月に実施します。

犬や猫を飼うときは放し飼いにすることなく、適切な飼育を行いましょう。

主な経費

狂犬病予防注射事務経費

9万円

狂犬病予防注射業務委託料

7万円

その他畜犬対策事務経費

3万円

財 源

犬の登録手数料

9万円

狂犬病予防注射済票交付手数料

10万円

有害鳥獣駆除対策

21万円

(農政課畜産林務係)

前年予算額40万円

農作物などに被害を与えるカラスやキツネなど有害鳥獣の対策と熊出没対策を行います。

～狩猟期間のお知らせ～

北海道の狩猟期間は10月1日から1月31日までです。

主な経費

駆除作業経費

13万円

捕獲器他

8万円

1 自然や景観、生活環境を守る

火葬場の維持管理

314万円

(町民生活課生活環境係) 前年予算額370万円

町では、火葬業務の円滑な運営と適切な維持管理に努めます。また、施設の都合により町外の火葬場を利用したときは、その差額を扶助します。

主な経費

火葬業務委託料	240万円
町外火葬利用扶助	10万円
その他維持管理経費	64万円

財 源

火葬場使用料	50万円
二セコ町の負担額	264万円

墓地の維持管理

54万円

(町民生活課生活環境係) 前年予算額53万円

中央墓地（字里見）など町が管理する墓地とその周辺環境の適切な維持管理に努めます。

主な経費

墓地管理業務委託料	41万円
その他墓地維持管理経費	13万円

財 源

墓地使用料	5万円
二セコ町の負担額	49万円